



行動規範

代表者メッセージ



社長兼最高経営責任者
デーブ・ハインツマンからのメッセージ

社員の皆様へ

リテルヒューズは、より安全でサステナブルな、そしてネットワークでつながる世界に活力を与える産業技術製造業のリーディングカンパニーとしての社会的評価を築いてきており、誠実さは、その基盤となるものです。社員、顧客、サプライヤー、投資家といった主要なステークホルダーからの信頼を維持して引き続き社会的評価を得られるよう、リテルヒューズの社員には常に厳格な倫理基準が課せられます。私たちは以下のように各ステークホルダーと信頼関係を築きます。

- 社員：安全でインクルーシブな労働環境を提供する。
- 顧客：優れた製品を競争力のある価格で提供する。
- サプライヤー：各サプライヤーを公正に扱い、約束を守る。
- 投資家：透明性をもって情報を開示し、投資家が賢明な投資判断を行えるようにする。

私たちを取り巻く現在の環境を考えると、リテルヒューズの事業に適用される世界各地の法規制は複雑で、正しい行動が何かを把握することが必ずしも容易ではありません。リテルヒューズの行動規範は、倫理的基準と法的基準に沿った意思決定を行うための指針となるものです。これらの基準について、私たち一人一人が説明責任を果たす必要があります。

行動規範を読んで確実に理解してください。そして、不明点があればためらわずに質問しましょう。

厳格な倫理基準を保っているグローバル企業として社会的評価を得ていることは私たちの強い誇りです。皆様のご協力の下、リテルヒューズでは今後もこの社会的評価を維持し、基盤としていきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

デーブ・ハインツマン



目次

- 4 いつでも、どこでも
倫理的な意思決定
倫理的なリーダーシップ
報復の禁止
- 9 リテルヒューズの社員
安全衛生
ハラスメント・差別の防止
職場での暴力と薬物乱用
ダイバーシティ、インクルージョン、機会均等
利益相反
不正行為の報告と調査
- 14 リテルヒューズの事業
贈収賄・腐敗行為の防止
公正競争
贈答と謝礼
貿易コンプライアンス
会社資産の保護と適正使用
政治に関わる出費とロビー活動
- 19 リテルヒューズの顧客
プライバシーの保護
情報セキュリティ
環境・社会的責任
- 23 リテルヒューズの投資家
正確な記録保持と不正
投資家向け広報活動
ソーシャルメディア
専有・秘密情報
インサイダー取引
- 27 行動規範の統制
行動規範の遵守義務と必須の研修
権利放棄と改定



いつでも、
どこでも



いつでも、どこでも

「リテルヒューズは誠実さをもって事業を行い、品質の高い製品とサービスを顧客とサプライヤーに提供し、当社の社員や株主に対して、また私たちが生活し働く場のコミュニティに対して相互利益に役立つよう尽力しています。」

私たち一人一人がリテルヒューズの社会的評価への責任を負っています。

この行動規範はリテルヒューズのすべての取締役、役員および社員に適用されます。リテルヒューズを代理して業務を行うときは、一般に認められている業務遂行基準に常に準拠することが求められます。このことにより、リテルヒューズの世界的な事業展開地の法令をすべて厳守し、最も厳格な業務・倫理慣行にのみ従う義務を全員が負うことになります。サプライヤー、コンサルタントおよび当社を代表する者による行動にも同様の期待事項が適用されます。これらの者には必ず本規範の写しを提供するとともに、本規範の適用規定の遵守を義務付けなければなりません。

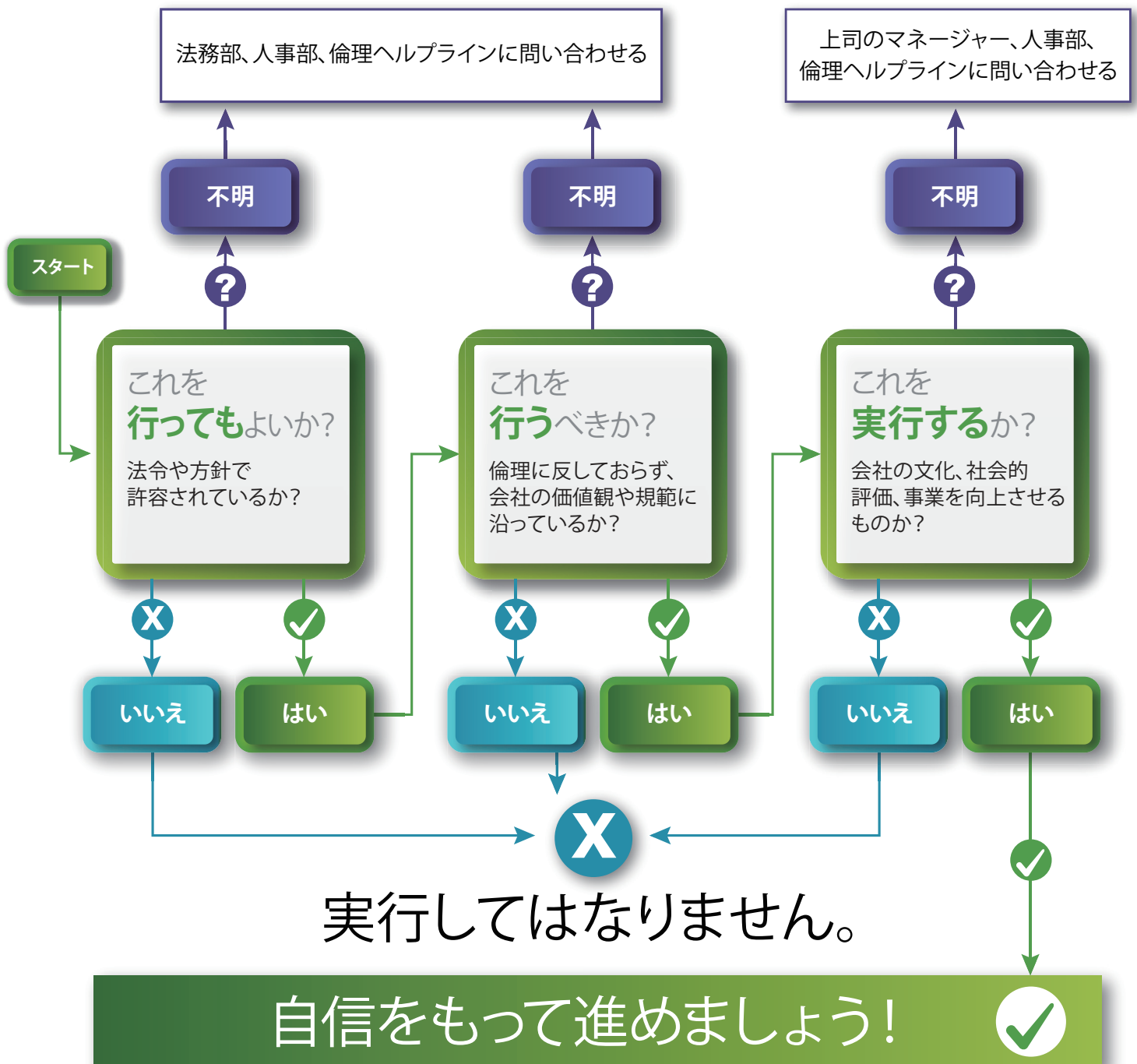
リテルヒューズは誠実さをもって事業を行い、品質の高い製品とサービスを顧客とサプライヤーに提供し、当社の社員や株主に対して、また私たちが生活し働く場のコミュニティに対して相互利益に役立つよう尽力しています。この行動規範では、社員が遭遇し得る状況、問題、倫理的ジレンマをすべて取り上げてはいません。それよりも、リテルヒューズの基本的な倫理と基準の指針となり、問題が発生し得る状況の概要を記載することを目的としています。本規範やその内容、本規範で挙げられている方針について質問がある場合は、上司、人事部または法務部に問い合わせてください。

倫理的な意思決定



倫理的な 意思決定 チャート

ペースの速い世界的な労働環境では、意思決定が困難な場合があります。倫理的ジレンマに陥ったときは、ここに記載されている重要な問いかけを思い出してください。



倫理的なリーダーシップ

リーダーは、ほかのリテルヒューズ社員に向けて模範を示し、よい手本になるという特別な責任を負っています。どのリーダーも、以下を通じて倫理的な行動を促し、誠実さを明確に示すことが求められます。

- 率直な発言を奨励する
- 誠実さを評価し称賛する
- 倫理的な意思決定を促進する
- 報復禁止に関する方針の遵守を徹底する
- 倫理に関する手本となる

不正行為に関する問題が生じたときは、適用される会社方針に従って対処しなければなりません。



詳細：マネージャー向けエスカレーションガイドラインを参照



社員は、**リテルヒューズ倫理ヘルプライン**を使って、秘密裏にまたは匿名で質問したり懸念を報告したりすることができます。この倫理ヘルプラインは独立した第三者が運用しており、社員が上司や人事部に直接報告しづらい場合に利用できる報告手段です。

倫理ヘルプラインは多言語に対応しており、24時間365日利用可能です。

この非公開の報告サービスや**Speak Up Today**の利用は、以下の方法で行うことができます。



オンライン：littelfuse.ethicspoint.com



電子メール：helpline@littelfuse.com



電話：1-800-803-4135 (米国内通話料無料)
(米国以外の電話番号は上記の倫理ヘルプラインのウェブサイトに掲載されています)

誠実に助言を求めたり、懸念を報告したりすることは正しい行動です。誠実に懸念を報告した人物への報復は許されません。「誠実」とは、報告された懸念に間違いがないという意味ではなく、報告者が真実であると純粋に考えているという意味です。故意に虚偽の報告をすることは本規範の違反行為であり、懲戒処分の対象となる可能性があります。

報復の禁止

報告や懸念の提起を誠実にを行った者に対し、リテルヒューズが不利益処分を科すことはありません。違法行為や倫理に反する行為といった違反の疑いを誠実に報告した者への報復は容認されず、解雇を含む懲戒処分の根拠となります。不正行為に関する問題を誠実に報告した社員は保護され、以下のような雇用上の不利益処分の対象となることはありません。

- 解雇
- 昇進機会の剥奪
- 脅迫
- 何らかのハラスメント
- 何らかの差別

どの社員も倫理ヘルプラインから匿名で（適用法で禁止される場合を除きます）報復行為を報告することができます。

同様に、誠実な理由のない申立てを行うこと、特に社員の社会的評価を貶めるための申立てなどは、それ自体が重大な違反行為であり、容認されず、解雇を含む懲戒処分の根拠となります。

詳細：業務の遂行と調査に関する方針と、倫理ヘルプラインのウェブサイト参照

リテルヒューズはあらゆる報復を許さない方針を採用しています。各種方針とこの行動規範により、誠実な報告の保護を保証しています。





リテル ヒューズの社員



リテルヒューズの社員

「私たちは尊厳を認め、すべての者に敬意を払います。つまり、私たちは違法または不当なハラスメントなどの不適切な行為が存在しない職場の実現に努めます。」

安全衛生

リテルヒューズは全世界の各拠点で安全な労働環境を維持し、正社員、契約社員および訪問者の安全衛生を確保することに重きを置いています。リテルヒューズの製造・販売業務には、環境・安全衛生に関する適用規制と同等以上の厳格な基準が課せられます。

どの社員も職場の安全衛生を優先する責任を負っています。私たち一人一人が自身の職務に適用される安全衛生規則・慣行に従う責任を負っており、自分自身、社員同時、および訪問者を保護する予防措置を講じています。このような責任には、事故、怪我、危険な行為や状況を直ちに報告することにより、既存の危険な状況を是正するために適切な措置を遅滞なく実施できるようにすることが含まれます。

詳細：安全に関する方針を参照

どの社員も、注意を怠らず、潜在的な問題を報告し、自分自身と他人の安全を最優先することにより、事故や怪我のない職場の実現に向けた役割を果たしてください。

ハラスメント・差別の防止

私たちは尊厳を認め、すべての者に敬意を払います。つまり、私たちは違法または不当なハラスメントなどの不適切な行為が存在しない職場の実現に努めます。侮辱的な行為や敬意を欠く行為、望ましくないあらゆる言動、他人を脅したり不快にしたりする行為は許されません。セクシャルハラスメントやその他のハラスメントは、行為者の意図にかかわらず、行為の内容とそれらが他の人にどのように捉えられるかに基づいて判断されることを常に念頭に置くことが肝要です。

リテルヒューズでは、ハラスメントのない職場の実現だけでなく、一人一人の違いを受け入れて差別を防止する取り組みも行っています。差別は不正で法令に反する行為です。人種・肌の色、性別、宗教、年齢、性自認・性表現、障害、性的指向、妊娠、軍役経験の有無、配偶者の有無や門地、市民権、出身国・民族、所属政党、保護対象の遺伝情報、法規制の保護対象となっているその他の特性によって差別することは許されません。

差別、ハラスメント、いじめと思われる行為を目にしたときは報告してください。上司のマネージャーや人事部の担当者に直接報告するほか、倫理ヘルプラインで懸念を報告してもかまいません。差別やハラスメントに関するすべての報告に真摯に対応します。

詳細：ハラスメントのない職場に関する方針を参照



職場での暴力と薬物乱用

健康的で安全な労働環境を確保するため、違法薬物の影響下にある状態で業務を行ってはなりません。リテルヒューズの敷地内で違法薬物を所持することは厳格に禁止されています。会社の行楽行事や宴会などの場で、リテルヒューズの部署でアルコールが振る舞われることがあります。そのようなイベントでは、責任をもって適度な量のアルコールを摂取することは許可されますが、自分の限界をわきまえて過剰な飲酒を防止するとともに、酒に酔った人が自分自身や他人に害を与えないようにする措置を講じなければなりません。

リテルヒューズでは、暴力の行使、暴力を行使するという脅しのほか、あらゆるいじめを禁止しています。リテルヒューズの敷地内で武器を所持することは禁止されています。これは、武器の所持者が適法な携帯許可を取得している場合も例外とはなりません。また、威嚇・敵対行為、野蛮行為、攻撃的な言動も禁止されており、これらの行為をした者は解雇を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。

ダイバーシティ、インクルージョン、機会均等

私たちが成功を収めるには、誰もが独自の見解を自由に発言できる場を作る必要があります。ダイバーシティ、インクルージョン、機会均等の促進とは、社員一人一人を受け入れて、全員を公正に扱い、機会均等を確保することを意味します。私たち一人一人が多様な考え、経験、能力、バックグラウンドを受け入れて奨励する文化を築く責任を負っています。このような文化を実現することが私たちの成長と革新につながります。多様な視点が私たちを向上させるのです。

リテルヒューズは機会均等と積極的差別是正措置を備えた雇用者であることを誇りにしており、能力、職歴および実績に対する公正で偏りのない評価に基づいて採用や昇進を決定するというすべてのグローバル要件を遵守しています。リテルヒューズのダイバーシティとインクルージョンへの取り組みは、差別を許さない私たちの姿勢とともに、あらゆる異なるバックグラウンドを持った個人個人がリテルヒューズの成功に貢献しているという信念によって支えられています。私たちが従事しているエンドマーケットやエンドカスタマーと同様の多様性を備えた人材を、引き付け、引き留め、育成するように努めます。

多様な人材。大胆なソリューション。 持続可能な成功。

私たちの成功は、多種多様な視点、経験、発想を集めて新たな価値を創造する職場を育めるかどうかにかかっています。



利益相反

私たちは正直かつ誠実に行動しなければならず、個人の利益とリテルヒューズの利益との間に顕在する相反や相反の疑いが生じる状況を避けなければなりません。すべての取締役、役員および社員は、リテルヒューズを代理して行う判断の独立性や自身の客観性を損なったり、損なっているように見えたりする行動や利害関係を避ける責任を負います。

利益相反や利益相反の疑いとなり得る状況が生じないようにするため、リテルヒューズ以外での雇用、個人的な関係（友人や家族など）、贈答・接待、個人的な投資・融資、他者との便宜の授受などに関わる際には注意しなければなりません。



あなたの発言が重要です。

潜在的利益相反：顕在的の利益相反に発展し得る状況や顕在的の利益相反となる可能性がある状況。

利益相反の疑い：何者かの判断が損なわれていると通常人が考える状況。

顕在的の利益相反：金銭やその他の事由により、何者かの職務上の判断の客観性、誠実さ、または職務の遂行能力が損なわれている状況。

ご存じでしたか？

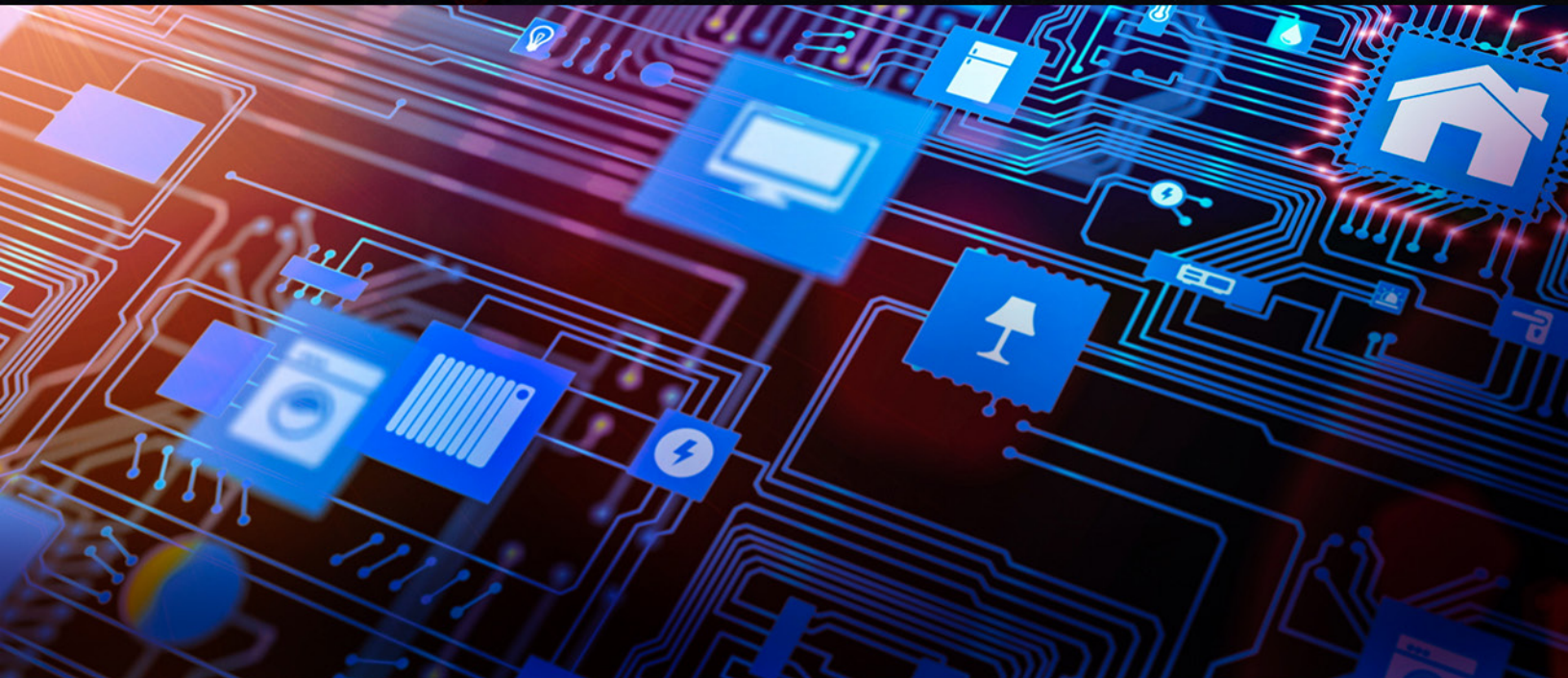
- 副業がリテルヒューズでの職務の妨げとなる可能性があります。副業を引き受ける前に上司のマネージャーに相談してください。
- 公職に就く場合は情報開示が必要です。上司のマネージャーに相談してください。
- 利益相反を開示するだけでそれ以上の措置が不要な場合もあります。迷ったときは上司のマネージャーに相談してください。

不正行為の報告と調査

私たちは誠実な職場を維持する責任を果たさなければなりません。これは、リテルヒューズの価値観と一致しない行為を報告する必要があることを意味します。何が正しい行動なのか常に明確であるとは限りません。ですから、確信がない場合や助言が必要な場合は必ず発言すべきですし、誰かが法令や本規範に反する行為をしている、またはしようとしていると誠実に判断した場合、さらには、不正行為を目撃した、または不正行為に関与したと思う場合も然りです。

本規範に関する違反や懸念があるときは、マネージャー、人事部の担当者、法務部または倫理ヘルプラインに速やかに報告しなければなりません。倫理ヘルプラインは24時間365日利用可能です。倫理ヘルプラインの電話番号は、リテルヒューズの施設、イントラネットおよび報告用ウェブサイト (<https://littelfuse.ethicspoint.com>) に掲示されています。不正行為の疑いを誠実に報告した取締役、役員および社員への報復は厳格に禁止されています。

詳細：弊社の業務遂行と調査に関するポリシーをご覧ください



リテルヒューズ の事業





リテルヒューズの事業

「私たちは製品やサービスのメリットと価格でのみ競争します。」

贈収賄・腐敗行為の防止

贈収賄や腐敗行為は個人、組織、社会に害をもたらす可能性があります。私たちの誠実な業務遂行の取り組みに反するものです。リテルヒューズの全社員のほか、リテルヒューズを代理して行為をするすべての業務委託先やその他の第三者は、正当で倫理的な販売手法のみを用いることが求められます。私たちは製品やサービスのメリットと価格でのみ競争し、事業の遂行における贈収賄や腐敗行為を禁止しています。リテルヒューズの事業範囲は世界に及ぶため、複数の国の贈収賄や腐敗行為に関する法令が適用され、不適切に見えるだけの行為も避けなければなりません。

いかなる場合も、直接的にも間接的にも、リテルヒューズの利益のために受領者に働きかけて政府や企業の行為を不正に行わせようとしていると合理的に解釈されるような支出や支払を行ってはいけません。リテルヒューズでは、あらゆる種類の賄賂やキックバックの授受、その申し出や要求、あるいはそれらを行うためにリテルヒューズでの立場を利用することを厳格に禁止しています。公務員との取引ではリスクが高くなるため、公務員とやり取りするときは特別な注意を払わなければなりません。

マネーロンダリング（取引で資金の違法な出所を隠匿すること）は重大な腐敗行為の一形態です。マネーロンダリングは犯罪に加担する行為であり、どの社員も、第三者のスクリーニング、取引の監視、不審な活動の報告など、疑わしい取引を特定するための責任を確実に果たさなければなりません。

詳細： 贈収賄防止に関する方針を参照

様々な形態の賄賂の例

- ケイトはパリ旅行の全費用を負担する代わりに契約を更新するよう顧客に提案しました
- ダンは供給契約を獲得するために現金入りの封筒を公務員に差し出しました
- ホワンは輸送業務を速めるために税関職員に少額の支払を行いました

公正競争

競合他社との差別化はリテルヒューズの革新的なソリューションによって生み出すものであり、不正、盗用および不当な優位性の利用を行うことは決してありません。公正競争の実現はステークホルダーにとって大きな利益となるものであり、私たちはすべての事業展開地で競争・独占禁止法の遵守に取り組みます。

禁止行為

- 競合他社または顧客との間で、価格をコントロールまたは固定する協定や、顧客やサプライヤーをボイコットする協定を結ぶこと
- 競合他社との間で、販売地域、市場、または製品を配分したり、製品の流れをコントロールしたりする協定を結ぶこと
- 違法または非倫理的な方法を使って競合情報を収集すること（これには違法な手段を通じての占有情報の取得や、他社の現在または過去の社員に情報の不当な開示を促すことも含まれます）

贈答と謝礼

ビジネス上の贈答、便宜、食事、接待は、健全で客観的なビジネス関係の行動の妨げとなる可能性があります。そのため、これらの行為には注意を払う必要があります。ある状況で贈答が許容されるかどうかを判定するときは業務上の判断を伴いますが、個人の意思決定に働きかけることを目的としてこの判断を下してはなりません。頻度が低く、金銭以外で、かつ価値が適度なものであれば、ビジネスでの贈答が適切とみなされる場合があります。

贈答を行う場合は必ずリテルヒューズの方針に従って承認を取得し、その贈答について記録しなければなりません。

契約の締結を祝して顧客を適度な夕食会に招くのは適切な贈答ですが、契約の締結を促すために顧客を豪華な夕食会に招くのは賄賂とみなされる可能性があります。贈答は見返りを期待して提供するものではないことを忘れないでください。





貿易コンプライアンス

リテルヒューズは事業展開国の貿易規制を遵守します。私たち一人一人が、事業展開国から資材、機器、技術、情報およびサービスを越境移転する方法の指針である輸出管理規制と関連規制を把握する責任を負っています。このような規制は、特定製品の輸出やデータの移転を禁止し、その内容は頻繁に変更されています。特定国や特定の者を対象とした、製品輸送や取引を実施する場合、ライセンスや許可の取得が必要になることがあります。

貿易規制に違反すると厳しい罰則が科せられる可能性があるため、規制対象の取引に関与する社員は不明点や懸念事項を貿易コンプライアンスチームに問い合わせなければなりません。

詳細：輸出コンプライアンスに関する方針を参照

新たな製品ラインを取り扱う場合、新たな国で事業を行う場合、または新たな外部業者と取引する場合は、必ず、貿易コンプライアンス部門に相談してください。

会社資産の保護と適正使用

リテルヒューズ資産を適切に取り扱うことで、資産の紛失、損傷、乱用、浪費、盗難を防ぐことができます。リテルヒューズ資産は、適切に維持管理するとともに、業務上の目的や事前に承認を得た目的でのみ使用しなければならず、職務を逸脱する目的で使用してはなりません。違法または許可されていない目的でリテルヒューズ資産を使用してはなりません。同様に、個人的な利益を得たり当社と無関係な独自の業務を行ったりする目的で資産を使用してはなりません（リテルヒューズから支給されたクレジットカードやコンピューターソフトウェアの私的利用など）。

詳細： 情報技術の利用に関する方針を参照

会社資産の例

- ・ 情報資産（顧客データベースなど）
- ・ 財務資産（会社支給のクレジットカードなど）
- ・ 有形・物的資産（コンピューター、電話、機械類など）
- ・ 無形資産（製品設計、アイデア、知的財産など）



政治に関わる出費とロビー活動

リテルヒューズの社員は、様々な政治活動を含め、地域社会への積極的な関与が奨励されます。ただし、個人的な政治活動のためにリテルヒューズの資金や資源を利用したり、リテルヒューズの経費の立替計上で返金を受領したりしてはなりません。個人的な政治活動の例には、公職候補者や政治イベントへの献金などがあります。政治団体や政治活動のために時間や金銭を費やす判断は、社員の個人的な任意によるものです。

さらに、リテルヒューズは政府機関や政治家との関係に適用される関連法の遵守に努めます。リテルヒューズでは企業献金を厳しく規制しており、法務部から承認を得ない限り行うことはできません。



リテルヒューズ の顧客



リテルヒューズの顧客

「情報技術システムはリテルヒューズの事業に不可欠なものであり、私たち一人一人が当社に維持管理を委ねられた情報を保護する責任を負っています。」

プライバシーの保護

リテルヒューズは、社員や顧客のほか、リテルヒューズの取引先から提供を受けた個人データのプライバシーとセキュリティを尊重し、保護します。この取り組みにあたり、リテルヒューズでは、プライバシーやデータ保護に関する適用法に準拠して個人データの責任のある収集、保管、使用、移転および廃棄を行うための手順を設けています。

個人情報の例

- 社会保障番号等の政府発行の識別番号
- 医療情報
- メールアドレス
- 電話番号
- 居住先住所
- クレジットカード情報
- 顧客信用情報
- 家族に関する氏名等の情報

詳細：プライバシーポリシーに関する方針、データ保護と分類に関する方針を参照

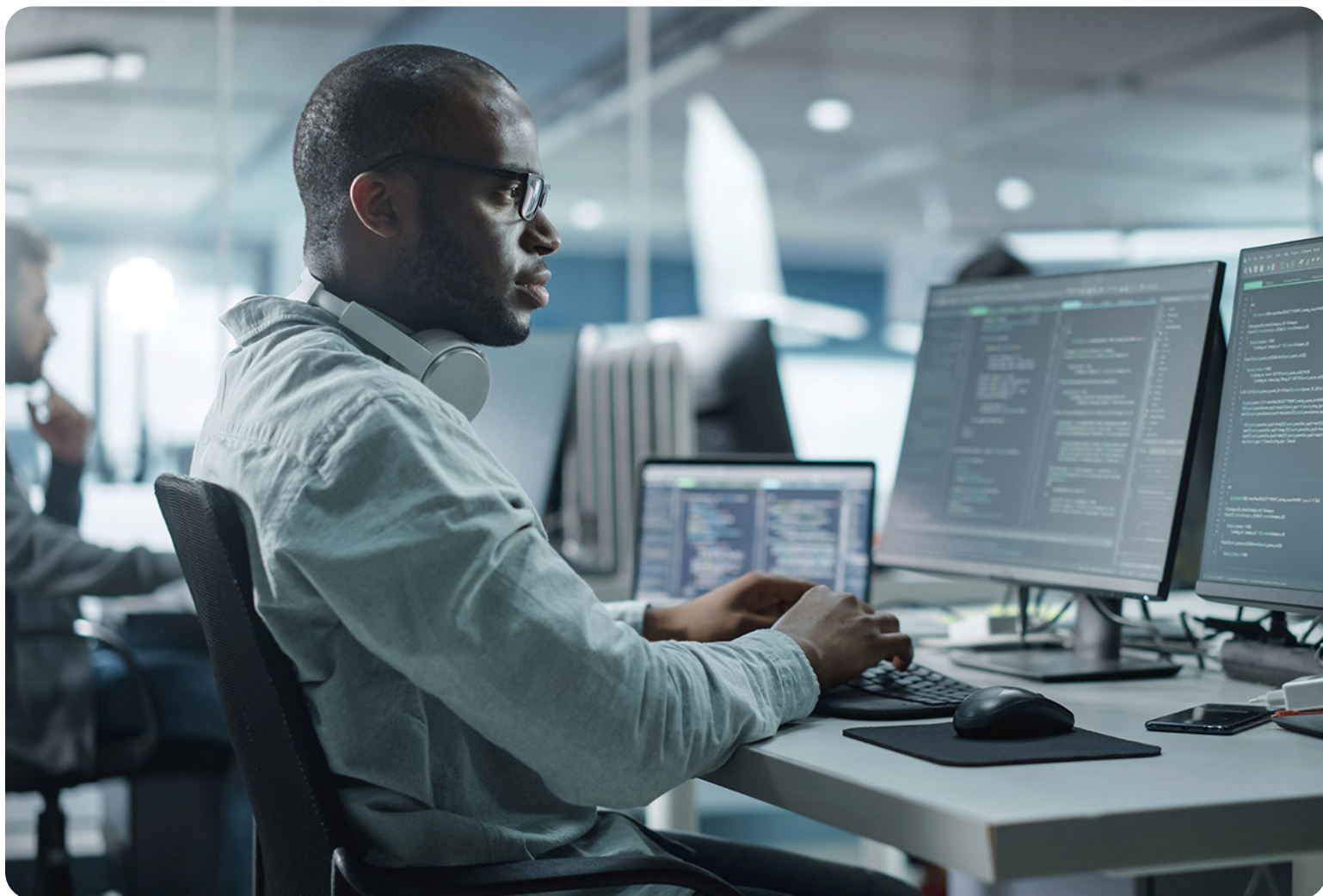
情報セキュリティ

情報技術システムはリテルヒューズの事業に不可欠なものであり、私たち一人一人が当社に預けられた情報を保護する責任を負っています。どの社員も当社の企業情報と顧客情報を保護する方法を把握しておかなければなりません。情報を保護して紛失、盗難、乱用を防ぐ最善の方法は、情報セキュリティに注意を払うことです。コンピューター、パスワード、その他のテクノロジーの不適切な使用やアクセスを防ぐために必要な予防措置を講じなければなりません。

リテルヒューズの電話、電子メールおよびインターネットの限られた私的利用は容認されています。ただし、以下に該当する場合を除きます。

- 外部企業の利益に関連するもの
- 本人やその他の社員の業務遂行を妨げるもの
- 多くの時間や資源を要するもの
- 違法、猥褻、政治的、差別的な内容など、不適切な内容を伴うもの
- 当社の行動規範やその他の方針に反するもの

詳細：情報技術の利用に関する方針を参照



行動の実施

- 仕事でも家庭でも、できる限り製品の再利用やリサイクルを行って廃棄物を削減する
- 地球への影響が小さい製品の使用やサービスの購入に努める
- 取引先が公正な労働慣行を実施しているかどうかを審査して、倫理的なサプライチェーンを支援する
- すべての企業関連方針に従い、当社の持続可能性目標の達成に努める

環境・社会的責任

私たちの日常的な意思決定や行動は重要な意味を持ちます。これらの影響は会社の成功だけでなく、環境や地域社会にも及びます。私たちが事業を行っているところでは、社会的、倫理的および環境上の状態の向上を優先し、継続して取り組まなければなりません。

リテルヒューズではサステナビリティに取り組む中で様々なイニシアチブを取り入れており、組織全体とサプライヤーに適用しています。このような取り組みはリテルヒューズのコアバリューが基盤となっており、当社の企業文化に取り入れることで最高の誠実さを保っています。

詳細：最新の当社サステナビリティレポートを参照



リテルヒューズ の投資家

200,000	1.50	▲
15,000	25.25	▲
100,000	100.31	▲
50,000	50.03	▲
1,000,000	0.28	▲
500,000	1.03	▲
25,000	0.98	▲
30,000	105.53	▲
500,000	20.32	▲
30,000	403.15	▲
300,000	10.10	▲
4,000,000	0.12	▲
300,000	1.53	▲
150,000	2.88	▲
100,000	6.03	▲
50,000	202.14	▲
20,000	600.10	▲

リテルヒューズの 投資家

「正直、公正、透明性が誠実な文化の基盤となります。」

正確な記録保持と不正

正直、公正、透明性が誠実な文化の基盤となります。当社の商取引に関する完全、公正、正確、適時かつ分かりやすい情報を正確に記録しています。さらに、私たちは、政府機関への提出が義務付けられる報告書や文書のほか、あらゆる公開文書など、正確な情報を投資家に提供する義務を負っています。

不実、詐欺、不正、盗用はすべて不正行為とみなされ、リテルヒューズでは禁止されています。不正または違法な目的で会社の資金や資産を使用することはできません。タイムシートや経費報告書の情報をすべて正直に報告し、会計業務で不実の記録が行われないようにしなければなりません。不審または疑わしい活動や取引があれば、法務部に、または倫理ヘルプラインを通して直ちに報告してください。

社員の責任

- 業務と無関係な活動の領収書を証拠書類として使用してはなりません（例：友人との会食で受け取った領収書を仕事の会食と偽って経費申請を行う）
- 経費や労働時間を過大に報告してはなりません
- すべての資産、負債、収入、費用、企業取引を遅滞なく記録します
- 熟慮した適切で正確な文言を使って記録を作成します
- 記録保持に関する方針に従って会社記録の維持管理と廃棄を行います

投資家向け広報活動

投資コミュニティの投資家たちは、私たちが提供するリテルヒューズの事業運営、業績、展望に関する情報の信頼性を頼りにしています。特定の相手を「特別」扱いしたり、最優先したりしないことが不可欠です。リテルヒューズはすべての投資家が重要な情報を平等に入手できるようにする法的義務を負っています。

権限を有する人物のみが投資コミュニティへの情報開示や投資コミュニティとのミーティングでの報告を行わなければなりません（その人物の関与を避けるべき場合を除きます）。社員が投資家から何らかの問い合わせを受けた場合は、投資家向け広報活動チームにエスカレーションしてください。



ソーシャルメディア



投稿する前に間をおきましょう。落ち着いて考えてください。このコメントをインターネット上に永久に残したいと思いませんか。

敬意と責任をもってソーシャルメディアを使用することで、ステークホルダーとの信頼関係を築くとともに、リテルヒューズの誠実な文化を推進し、社会的評価を高めることができます。ソーシャルメディアを活用すれば、リテルヒューズの使命、製品およびサービスに関する情報を周知したり、新たな人材を採用したり、ステークホルダーとビジネス関係やつながりを構築したりすることができます。機密な話題を取り上げる場合など、各種会社方針に従って適切な判断を行い、公正かつ建設的に、分別をもって行動することが求められます。

詳細：ソーシャルメディアに関する方針を参照

専有・秘密情報



情報の中には会社の成功に不可欠で、公表が禁止されるものがあります。秘密にしなければならない情報の例には、製品設計、顧客リスト、価格設定に関する方針などがあります。私たちは全員、リテルヒューズ、社員、サプライヤーおよび顧客の専有情報、個人情報および秘密情報の無断開示を防ぐための予防措置を講じる責任を負っています。この義務はリテルヒューズとの雇用関係や業務関係が終了した後も続きます。

さらに、注意を払って第三者の知的財産権を尊重するとともに、有効な特許、商標またはその他の秘密情報の侵害を防ぐ予防措置を講じなければなりません。

詳細： 情報技術の利用に関する方針を参照

インサイダー取引

リテルヒューズは上場株式公開会社であるため、情報を共有する時期や方法の重要性を常に念頭に置いておかなければなりません。重要な非公開情報を所持している者はリテルヒューズや取引先の有価証券を売買してはなりません。重要な非公開情報とは、公表されておらず、通常の投資家がある有価証券の売買や保有の判断を行うにあたり重要視すると思われる情報を指します。

インサイダー取引とは、重要な非公開情報を不当に使用して株式等の有価証券を売買する行為を意味します。重要な非公開情報の使用やリテルヒューズの有価証券の取引に関する規則については、インサイダー取引に関する方針に記載されています。有価証券の取引に関しては、外見上、不適切に見えるだけの行為も避けなければなりません。そのため、どの社員もインサイダー取引に関する方針を理解して遵守することが求められます。

詳細： インサイダー取引に関する方針を参照



間近に迫った買収の情報があるとして、この情報をリテルヒューズが公表する前に友人に伝えてもよいでしょうか。迷ったときは秘密にしてください。重要な非公開情報にアクセスできる社員は、金融市場の健全性、その他の投資家、さらにはリテルヒューズの社会的評価を守ることが期待されます。



行動規範 の統制



行動規範の統制

行動規範の遵守義務と必須の研修

行動規範を遵守し、研修義務を果たすことは雇用継続の条件です。本規範に違反した場合、懲戒処分（譴責～解雇）や賞与の減額・取り消しを科せられたり、刑事訴追を受けたりする可能性があります。

雇用を継続する条件として、雇用時とその後1年ごとに、当社の行動規範の研修を受講し、行動規範を読んで理解したことを宣言しなければなりません。この宣言では、行動規範を遵守していること、および自覚している行動規範の違反がないことを確認することが求められます。

権利放棄と改定

取締役会はこの行動規範の規定を変更する権利を留保するとともに、その権利を放棄できるものとします。